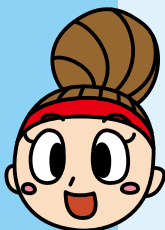


ガスをお使いただいたただくために安全に



4つのお願い → 1

もし地震・台風などの自然災害がおきたら... → 1

ガスの種類について → 2

一酸化炭素中毒と警報器について → 2

接続具について → 3

ガスコンロのお願い → 5

小型湯沸器のお願い → 5

屋内煙突式

CF式 → 6

ふろがま・給湯器のお願い

FE式 → 6

BF式・FF式 → 7

屋外式ふろがま・給湯器のお願い (RF式) → 7

ファンヒーター・ストーブのお願い → 8

チャンバー室設置に関するお願い → 8

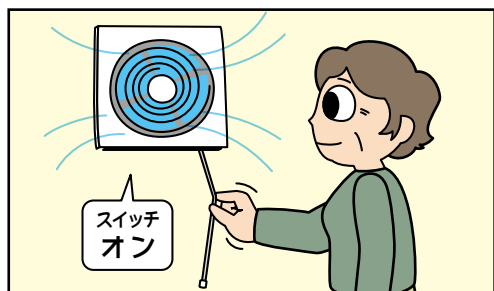
パロマ湯沸器を探しています → 8

ガスくさいときはご連絡ください → 11

ガスに関する連絡先 → 11

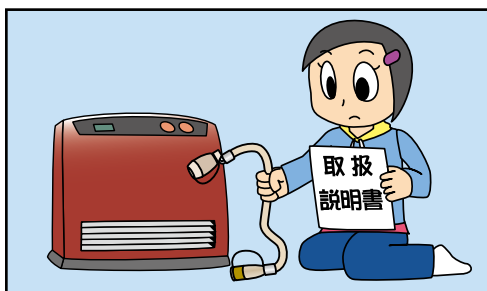


4つのお願い



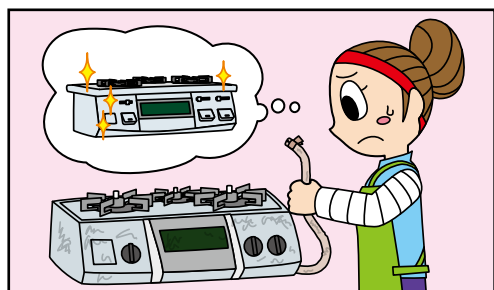
ガス機器使用時は必ず換気

不完全燃焼による一酸化炭素中毒事故を防止するため、換気設備のスイッチを入れるか、窓などを開けてからガス機器をご使用ください。



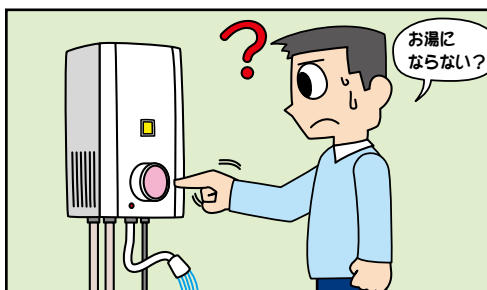
正しい方法でご使用

ガス機器や接続具などを安全にご使用いただくために、ご使用になる前には、取扱説明書等をよく読み、内容を確認してください。



古くなったガス機器や接続具に注意

長年のご使用によりガス機器や接続具などは劣化し、重大な事故につながる可能性があります。日常のお手入れ、または、早めのお取替えをお願いします。



「いつもと違う」ときは使用を中止し連絡

ガス機器使用中に、火のつきが悪い、お湯がすぐ水になる、ススける、炎のあふれ等があった場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

もし地震・台風などの自然災害がおきたら…

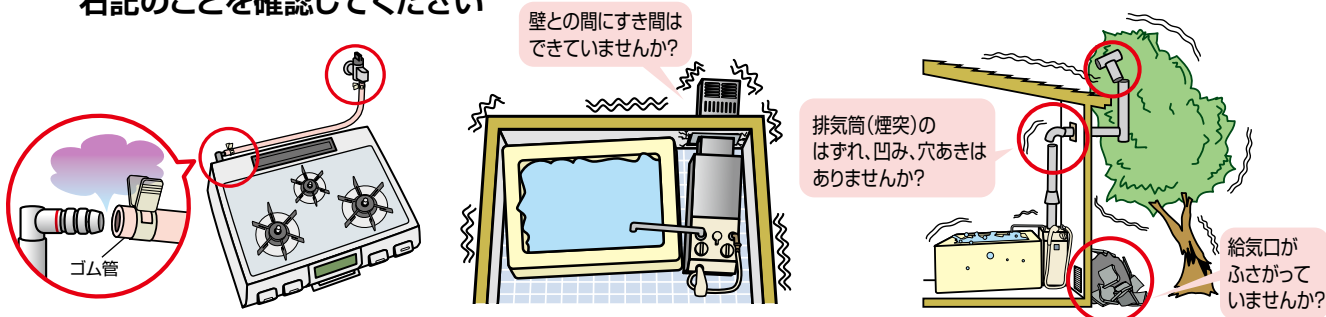
1 まずは身の安全を確保します

- 震度5相当以上の地震の場合、ガスメーターが自動的にガスを止めます。あわてず行動しましょう。
- ※自動的にガスを止めた後に、ガス漏れ検査を行い、異常がなければ自動復帰を行うガスメーターもあります。

2 揺れがおさまったらガスの火を消してください

3 自然災害のあと、ガスをふたたび使うときは、右記のことを確認してください

- ガス機器周囲でガスのにおいがしないか
- ガス機器本体に変形・破損等異常がないか
- 煙突式など屋内外の給排気設備に異常がないか（はずれ・凹み・穴あきがないか目視確認してください。）
- ガス接続具が正しく接続されているか（接続具にはずれがないか目視確認してください。）

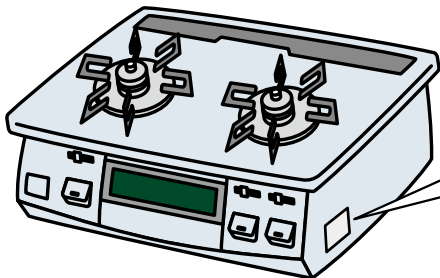


- 異常を確認した場合は、一酸化炭素(CO)中毒や火災など事故のおそれがありますので、お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡し、点検・修理を依頼してください。
- ガス機器を使用していて目がチカチカしたり、気分が悪くなったり、不快なお臭がした場合は、**ただちに使用を中止し、修理の手配をしてください。**

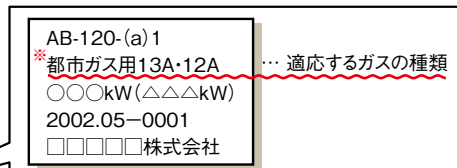
ガスの種類について

お届けしているガスの種類は都市ガス13Aです 「都市ガス13A用」のガス機器をご使用ください

ガス機器には、適応するガスの種類をお知らせするラベルが貼られています。
ガス機器が「都市ガス用13A」であることを必ずご確認ください。



〔ガス機器に貼付されているラベルの表示例〕



※「LPガス用」などをご使用になれません
「都市ガス13A(又は13A・12A)」と表示されていれば使用可能です。

お届けしているガスに適応しないガス機器は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発・火災発生などの原因となり大変危険です。「都市ガス用13A」に調整(有料)する必要があるため、お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

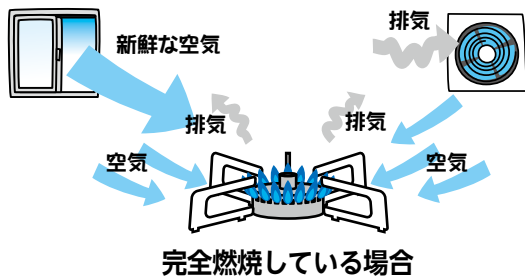
※お届けしているガスには、有毒な物質である一酸化炭素が含まれておりません。

一酸化炭素中毒と警報器について

重要 一酸化炭素(CO)中毒について

ガスの燃焼には大量の新鮮な空気と適切な排気が必要です

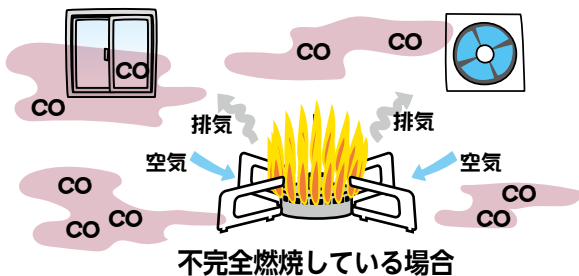
換気をせずにガス機器をご使用になると、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の危険があります。少しでも体調に異変を感じたら、ただちに使用を中止してください。



⚠ 一酸化炭素(CO)の毒性は強力!

無色・無臭なのでとても気づきにくく、毒性も強力、少量でも危険です。

空気中におけるCO濃度 [%]	吸入時間と中毒症状
0.02	2~3時間で前頭部に軽度の頭痛
0.08	45分で頭痛・めまい・吐き気・けいれん、2時間で失神
0.16	20分で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡
0.32	5~10分で頭痛・めまい、30分で死亡
1.28	1~3分で死亡



お勧め もしものための「見張り番」

お客さまが安心してガスをお使いいただけるよう、警報器のお取付けをお勧めします

警報器は室内を常時監視し、ガス漏れ・一酸化炭素(CO)の発生や火災を検知、万が一の時に、早期にお知らせすることで、被害拡大の防止につながります。

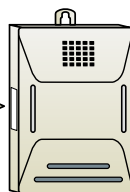
また、火災発生時には、一酸化炭素(CO)が発生し、逃げ遅れてしまうことがあるため早期に異常を察知できる警報器が有効です。

警報器には有効期限があります。有効期限が切れると万が一の場合に作動しない可能性があるため、定期的なお取替えをお願いします。お取付け・お取替えをご希望の場合は販売店または東京ガスへご相談ください。

有効期限の確認!

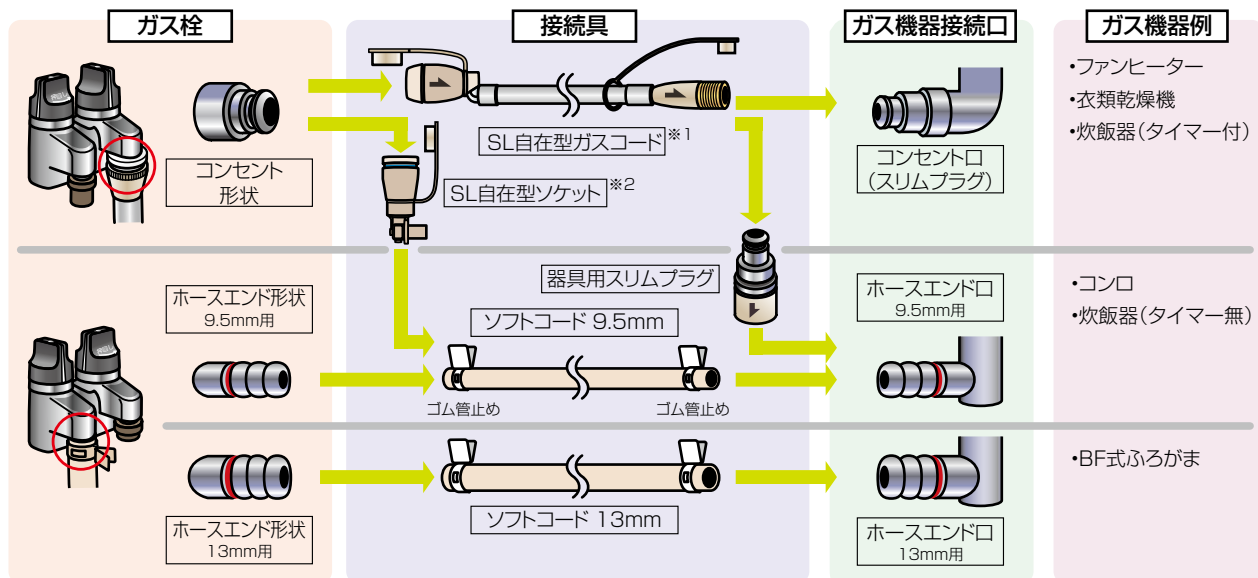


〈警報器の例〉



接続具は適切な種類をお選びください

適切な接続具の選び方 ガス栓・ガス機器接続口の形状を確認の上、接続具を選んでください。



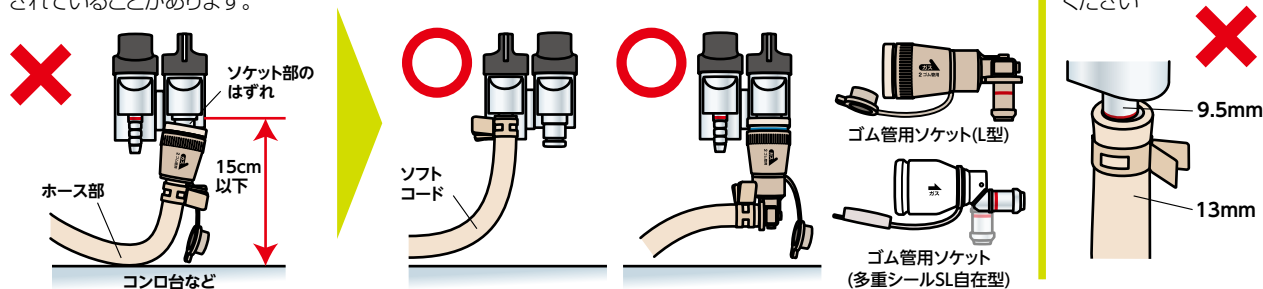
※1:ガスコードはL型(接続具の角度が90度)・S型もあります。 ※2:ソケットはL型・S型もあります。

ソケット接続のソフトコード・ガスコードはホース部の反発力により、ソケット部がはずれても**不完全な接続状態**で保持されていることがあります。

①ソフトコードをホースエンド側へ直接接続してください。

②コンロ置台からガス栓までの距離が短い場合はゴム管用ソケットまたはガスコードをS型からL型かSL型に変更してください。

ホースエンドガス栓の口径に合わないソフトコードを使用しないでください

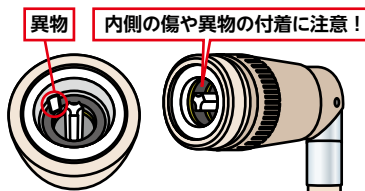


正しい接続方法

ガスコード・ソケット(SL自在型・L型・S型)

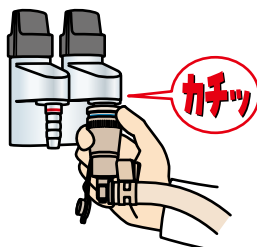
接続面が清潔か確認

接続する前に、接続面に傷や汚れがついていないか確認してください。汚れがついている場合は、お取替えをお勧めします。(メーカー説明書より)

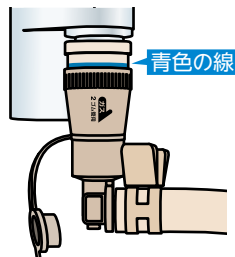


確実に接続

ゴム管用ソケットを取り付ける際には、カチッと音がするまで確実に差し込んでください。



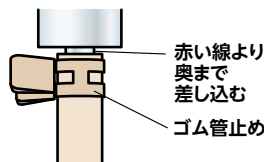
正しく差し込むと青色の線が表示される製品もあります。



ソフトコード

確実に接続

ソフトコードを取り付ける際には、ホースエンドガス栓の赤い線まで差し込み、ゴム管止めできっちりとめてください。

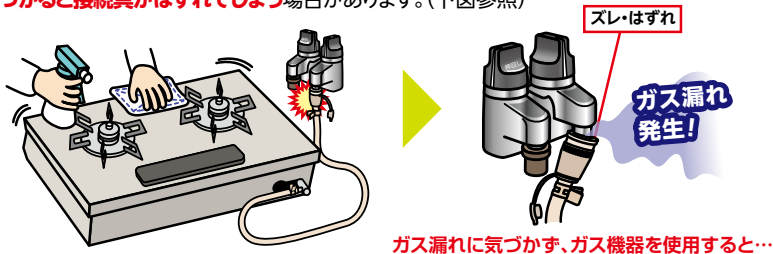


近年、ガス機器とガス栓の接続部分で、ガス漏れ着火事故が発生しています。

①ガス栓からはずれる②経年劣化・汚れ③誤った接続 などによるものです。

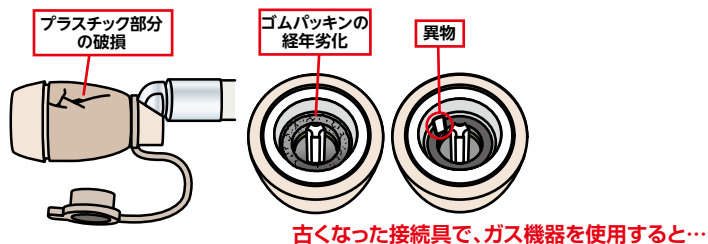
Point ① ガス栓からはずれる

ガスコンロやガス栓周りのお掃除で、ガス機器や、掃除道具等が**ガス栓の接続部分にぶつかると接続具がはずれてしまう**場合があります。(下図参照)

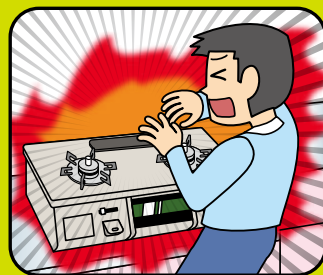


Point ② 経年劣化・汚れ

古くなったゴム管用ソケットやガスコードはプラスチック部分が破損したり、接続部の**ゴムパッキンの経年劣化や汚れ**により、ガス漏れをおこすことがあります。

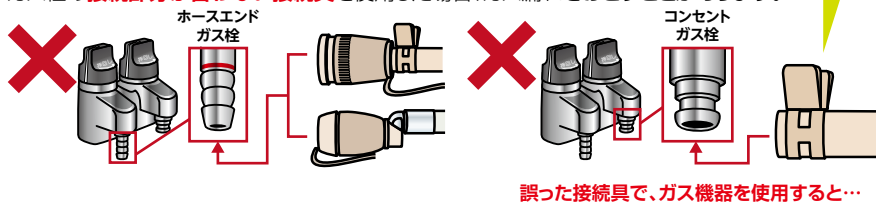


**ガス漏れにより
重大な事故を
引き起こす可能性が
あります!**



Point ③ 誤った接続

ガス栓の**接続部分が合わない接続具**を使用した場合、ガス漏れをおこすことがあります。



重要 経年劣化にご注意ください

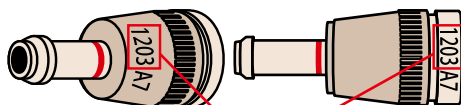
接続具の**ゴム管用ソケット・ガスコード**は、樹脂とゴムを使用した製品であり、時間とともに劣化していきます。**製造後7年程度での交換が推奨**されています(日本ガス石油機器工業会HPより)。また、機器交換の際には交換することをお勧めしています。

ホース部に記載されている例(ガスコード)

7.6kW 以下 7 (メーカー名) T 1611

1611の場合→2016年11月製

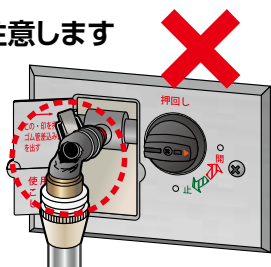
ソケット部に記載されている例
(ゴム管用ソケット・ガスコード共通)



1203の場合→2012年3月製

ガス栓用プラグのひび割れに注意します

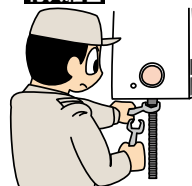
ひび割れがある場合はガスが漏れる可能性があります。異常を確認した際はガス栓を閉めて東京ガスへご連絡ください。また、ガス栓用プラグを必要としない、コンセント型ガス栓へのお取替えをお勧めします。



ガス機器を交換するときは接続具も必ず交換します

ガス機器によっては、接続具の交換に資格が必要となる場合があります。詳しくは購入店やメーカー、東京ガスへご連絡してください。

有資格者



ガスコンロのお願い

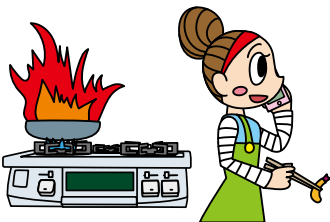
■ソフトコード等の接続具を高温部に接触させないでください

接続具が高温部に触れると、損傷する可能性があります。ソフトコードは適切な長さで使用してください。



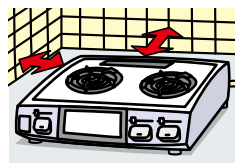
■調理中は目を離さないでください

てんぷら油・グリル火災に注意して調理します。調理中に目を離す際は、いったん火をとめてください。揚げ物は、温度センサー付きのコンロでの調理をお勧めします。



■壁面から離して設置

コンロは取扱説明書等に記載されている壁面から適正な距離をとって設置してください。



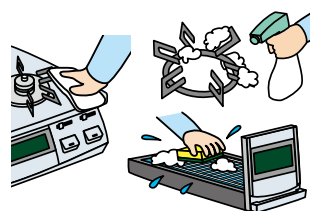
■着衣着火に注意

ガスコンロ使用中は身体や衣服を炎に近づけないように注意してください。



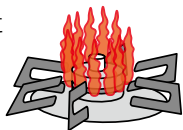
■こまめに清掃

煮こぼれや油などにより汚れた箇所や、五徳(ごとく)・グリルの焼き網などは、お掃除をこまめに行ってください。



一酸化炭素中毒を防ぐための日常チェックポイント

炎が赤やオレンジ色になっていませんか？



鍋底がススで黒くなっていませんか？



目がしみたり不快なおいはいませんか？



▶お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

小型湯沸器のお願い

■繰り返しの点火操作はせず 汚れや目詰まりなどに注意

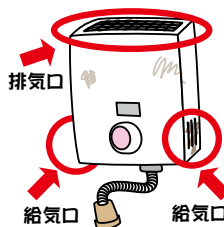
ご使用中にたびたび火が消える場合は、安全装置(不完全燃焼防止装置)が作動している可能性があります。使用を中止し、お買い求めになった販売店や、メーカー、東京ガスへ連絡してください。

不完全燃焼防止装置付き



■定期的に給気口を清掃

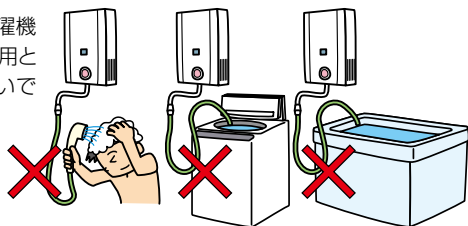
本体の側面などにある切れ込みは、燃焼するために必要な給気口です。定期的に掃除をし、常に空気が供給されるようにしてください。また上部(排気口)に汚れやつまりが見える場合や、異常を感じた場合等は、使用を中止し、お買い求めになった販売店や、メーカー、東京ガスへ連絡してください。



■長時間の使用はしないでください

洗髪やシャワー、浴槽や洗濯機への注湯など、長時間の使用となるような使い方はしないでください。

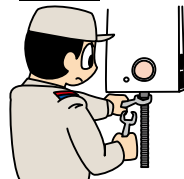
※販売中の小型湯沸器には、一定時間連続して使用すると燃焼を停止するものもあります。



■設置工事は有資格者に依頼

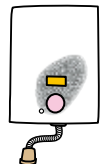
無資格者の不完全な設置工事が起因となる、ガス漏れ、着火事故が発生しています。機器取替えや取付けは、お買い求めになった販売店や、メーカー、東京ガスへ連絡してください。

有資格者

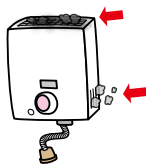


一酸化炭素中毒を防ぐための日常チェックポイント

前面カバーの一部の変色や、点火しなかったり、炎が赤やオレンジ色になっていませんか？



給気口にホコリなどがつまっていませんか？ 排気口に黒いススがついていませんか？



目がしみたり不快なおいはいませんか？



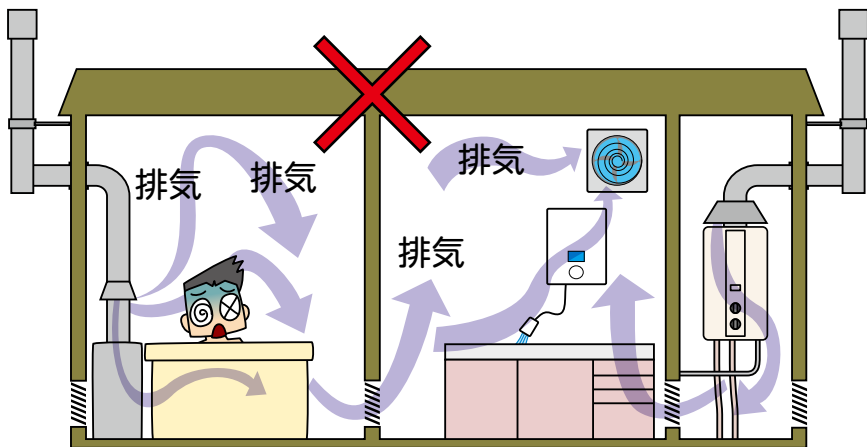
▶お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

お勧め

不完全燃焼防止装置の無い機器は、不完全燃焼防止装置*付きの機器にお取替えてください。

*炎の異常を感じ自動的にガスを止め、不完全燃焼を防止します。

屋内煙突式 風呂がま・給湯器のお願い(CF式)



換気扇と同時使用はしないでください

風呂がまや給湯器の使用中に、換気扇を回す必要がある小型湯沸器やコンロの使用はしないでください。隣室で換気扇を使用すると、排気ガスが煙突を逆流して、一酸化炭素中毒となる危険があります。

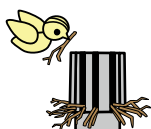
一酸化炭素中毒や異常着火を防ぐための日常チェックポイント

煙突にさび、穴あき、はずれがありませんか？

固定金具が無く、グラグラ動いていませんか？

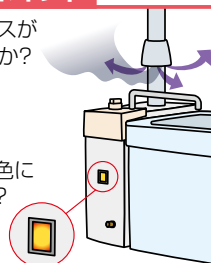


煙突の先から枝や葉が出ていませんか？

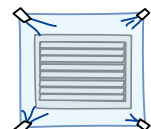


逆風止から排気ガスがあふれていませんか？

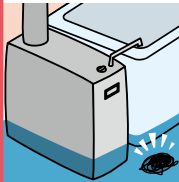
点火しなかったり、炎が赤やオレンジ色になっていませんか？



換気口・給気口をふさいでいませんか？



排水口が詰まって、風呂がまが水に浸かっていませんか？



▶お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

お勧め 安全型の風呂がま・給湯器

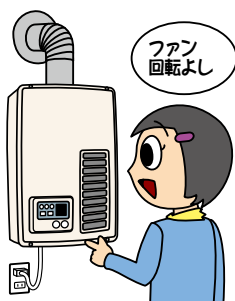
ガス機器が燃焼する際に、屋内の空気を使用しない ⑦ ページのBF式・FF式または屋外式の風呂がま・給湯器をお勧めしています。

※屋内にガス風呂がまや給湯器を設置するときには、国で定められた資格が必要です。

屋内煙突式 風呂がま・給湯器のお願い(FE式)

お湯を出したときに排気ファンが回転しているか確認

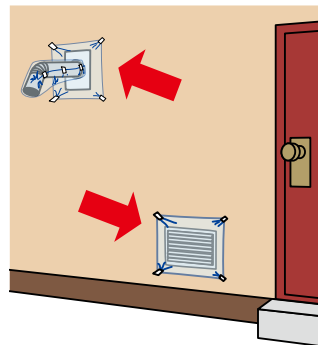
コンセントにつないで使用するタイプの風呂がま・給湯器は、差込プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを必ず確認してください。



煙突・給気口がふさがっているときは使用しないでください

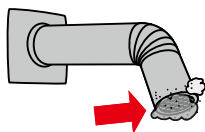
塗装工事などで煙突や給気の出入り口が、ビニールシート等で養生されているときは、ガス機器は使用しないでください。

※天井裏に煙突(排気筒)が設置されている場合は点検口が設けられていることをご確認ください。点検口がない場合は、設置の検討をお願いいたします。



一酸化炭素中毒を防ぐための日常チェックポイント

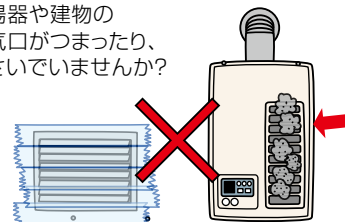
煙突の先がふさがっていませんか？



煙突にさび、穴あき、はずれはありませんか？



給湯器や建物の給気口が詰まったり、ふさいでいませんか？



▶お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

屋内煙突式 風呂がま・給湯器のお願い (BF・FF式)

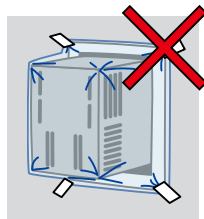
■使用中は、排気出口 近くの窓を 開けないでください

燃焼時の排気ガスが窓などから室内
に流入し、一酸化炭素中毒となる危険
があります。



■煙突がふさがっているとき は使用しないでください

塗装工事などで煙突が、ビニールシート等
で養生されているときは、ガス機器は使用
しないでください。



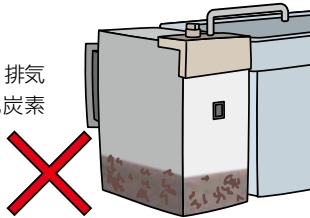
■繰り返しの点火操作は 危険です

繰り返して点火操作を行うと、
ガス機器の内部にガスが滞留
し、異常な着火をすることが
あり危険です。



■本体の腐食に注意

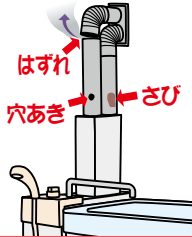
腐食によって本体に穴があくと、排気
ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素
中毒となる危険があります。



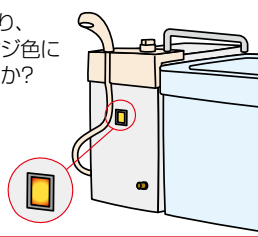
※天井裏に煙突(給排気筒)が設置されている場合
は点検口が設けられていることをご確認ください。
点検口がない場合は、設置の検討をお願いいたし
ます。

一酸化炭素中毒や異常着火等を防ぐための日常チェックポイント

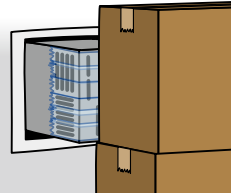
煙突に
さび、穴あき、
はずれは
ありませんか？



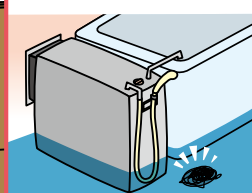
点火しなかったり、
炎が赤やオレンジ色に
なっていませんか？



煙突をふさいだり、
可燃物を置いて
いませんか？



排水口が詰まって、
風呂がまが水に
浸かっていませんか？

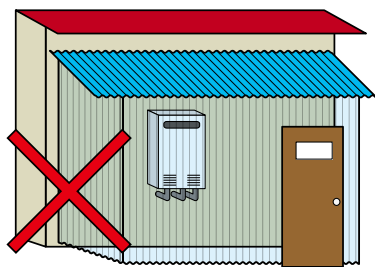


▶お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

屋外式 風呂がま・給湯器のお願い (RF式)

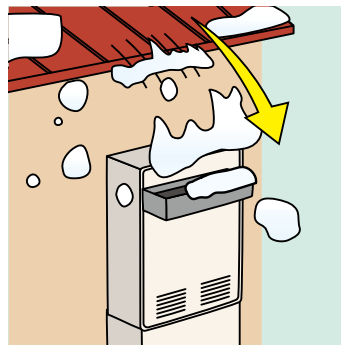
■風呂がまや給湯器を 囲わないでください

波板などでガス機器の周囲を囲む
と、燃焼に必要な空気(酸素)が不足
して不完全燃焼の原因となります。



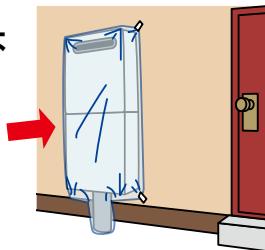
■排気口がふさがれていないか 確認してください

雪が積もると、ガス機器の排気口や給気口をふさぐ
ことがあり、異常着火の原因となり危険です。



■ガス機器がふさがっているときは 使用しないでください

塗装工事などでガス機器が、ビニールシート等で
養生されているときは、ガス機器は使用しない
でください。

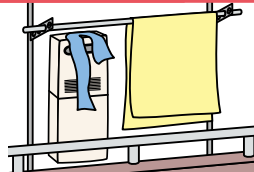


一酸化炭素中毒や異常着火等を防ぐための日常チェックポイント

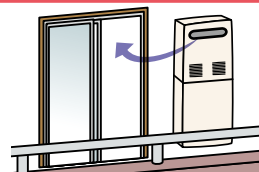
排気口の前に可燃物を
置いていませんか？



排気口を
ふさいで
いませんか？



窓から排気ガ
スが室内に入っ
ていませんか？



ファンヒーター・ストーブのお願い

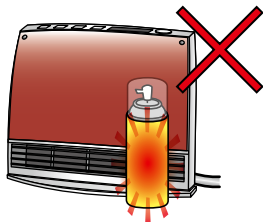
適切な換気

ファンヒーターなどの開放型の暖房機を使用する際は、1時間に1～2回、1分程度の換気が目安です。部屋を閉め切ったまま長時間使用すると、不完全燃焼となり、一酸化炭素が発生する危険があります。
※金網ストーブは30分に1回、1分の換気が目安です。



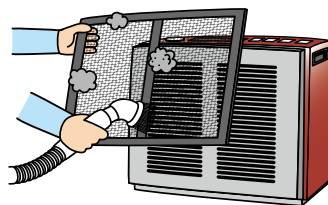
吹き出し口に物は置けません

温風吹き出し口は高温になるため、やけどや火災にご注意ください。
※スプレー缶等は爆発する危険があります。



こまめに清掃

暖房機に設けられているフィルターは、ほこりなどがつまりやすいため、お掃除をこまめに行ってください。



ご注意 金網ストーブをお持ちのお客さまへ

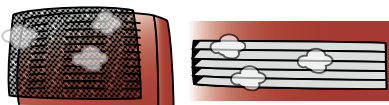
- 赤熱面(金網部分)に変形や、やぶれなどの異常がある場合は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となる恐れがあります。
- 不完全燃焼防止装置付きのガスファンヒーターなどへのお取替えをおすすめします。
- 接続具はソフトコードにて接続してください。(器具用スリムプラグをご使用の場合はガスコードにて接続してください。)



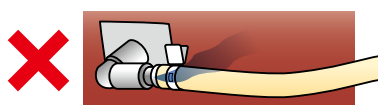
お願い 機器を交換するときは、ガスコード(接続具)も必ず交換してください。

ファンヒーター使用時のチェックポイント

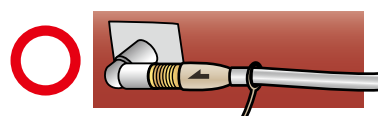
フィルターや温風吹出口にほこり等がつかっていませんか?



ファンヒーターのコンセント接続口に誤ってソフトコードを接続していませんか?



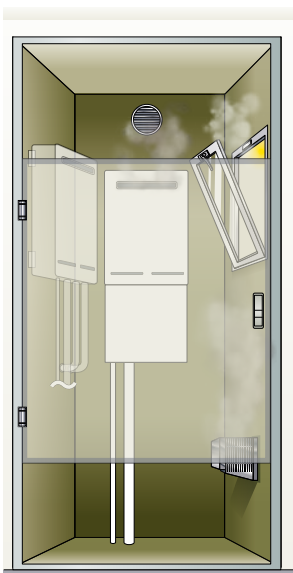
ファンヒーターのコンセント接続口にはガスコードを接続してください。



チャンバー室設置に関するお願い

窓を開けたまま、ふろがま・給湯器を使用しないでください

排気ガスが居室内に流入し、一酸化炭素中毒になる可能性があります。ガス機器使用の際に、異臭などを感じた場合は、直ちにガス機器の使用を中止して、お買い求めになった販売店やメーカー、東京ガスへ連絡してください。

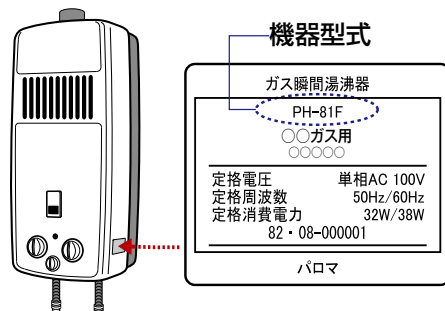


※絵のようなくぼみのある設置をチャンバー室設置といえます。

パロマ湯沸器を探しています

パロマでは該当製品について、継続して点検・回収を実施しております。つきましては、該当製品にお心当たりがある方は、東京ガスまでご連絡ください。

製品側面にある機器型式プレートをご確認ください。



該当製品の機器型式一覧 ※下記型式名は末尾()を含む

PH-81F	PH-82F	PH-101F	PH-102F	PA-108FE(東京ガスブランド)
PH-131F	PH-132F	PH-161F		PA-113FE(東京ガスブランド)

保安責任区分

ガス機器・接続具に関する保安は、ガス小売事業者(東京ガス)が担当します。

ガス管・ガスメーター・ガス栓に関する保安は、一般ガス導管事業者(エナジー宇宙)が担当します。

※ガス事業法に基づく消費機器調査などの保安点検は、東京ガスの責任において実施いたします。

※緊急時対応等のため、ガス小売事業者の調査結果は一般ガス導管事業者へ提供させていただきます。あらかじめご了承ください。

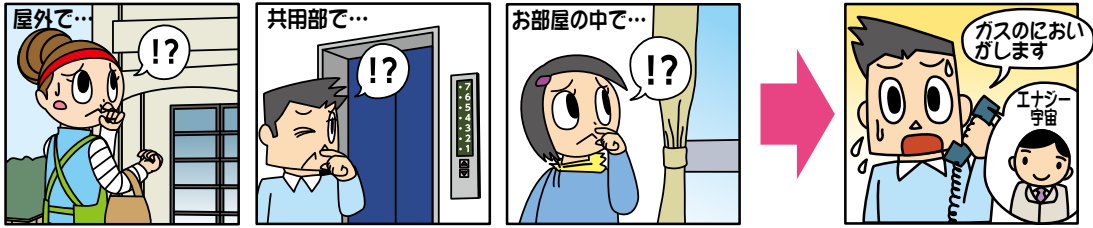
※建物を改装されるときなどは、注意事項がございますので必要に応じて東京ガスへご相談ください。

MEMO

MEMO

ガス漏れは**火災**や**爆発**の恐れがあり**危険**です!

屋外、共用部、お部屋の中などで、ガスくさいときや警報器が鳴っているときは、
すぐに一般ガス導管事業者(エナジー宇宙)へ連絡してください。

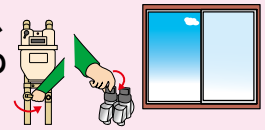


ガスくさいとき、警報器が鳴っているときは

火気厳禁、電気のスイッチに
触れないでください



窓や扉を開け、ガス栓、
メーターガス栓を閉め
てください



エナジー宇宙 ガス漏れ通報専用ダイヤル

受付時間：24時間対応・年中無休

☎ 0120-1031-24

《ご連絡時に教えていただきたい情報》

●お名前 ●ご住所 ●ご近所の目標 ●現在の状況



一般ガス導管事業者(エナジー宇宙)の主な保安体制 <365日・24時間保安体制>

ガス漏れ、ガス事故等の緊急時に備えて、係員と緊急車が常時待機しています。

ガスに関する連絡先 (ガス機器やガス料金に関することなど)

ガス小売事業者(東京ガス)の連絡先

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～17:30

東京ガス広域お客さまセンター

☎ 0570-005550 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご使用になれない場合

IP電話・海外からの
ご利用など

☎ 03-5850-5088

●右の時間帯・曜日・時期は混雑が予想されます。 ●9:00～10:00 ●引越シーズンとなる3月中旬～4月上旬

※ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(株)のサービスです。
電話料金はお客さまご負担となります。

携帯電話の場合、基本使用料に含まれる無料通話分や通話料
割引サービス(定額通話制度等も含む)の適用対象外(有料)
となります。ご契約いただいている通信会社の規約をご確認
の上お掛けいただく番号をお選びください。

*耳やことばの不自由なお客さま向けに、東京ガスホームページに
FAX送付用紙を掲載しています。必要な情報をご記入の上、
FAXでお送りください。

【東京ガスホームページ】<https://home.tokyo-gas.co.jp>

【FAX番号】ガスのご用件:03-3344-9393

* For English https://www.tokyo-gas.co.jp/index_e.html



このパンフレットはFSC® 認
証用紙を使用しています。
FSC® 認証は、責任ある森林
管理を認証する制度です。